



社会

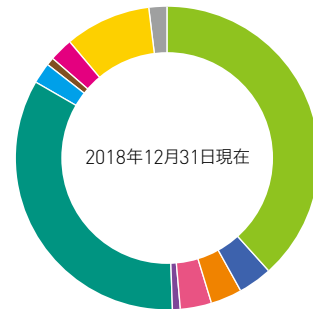
## 地域と連携したCSVの推進

ヤマトグループは、「社会から一番愛され信頼される会社」を目指しています。お客様や地域の課題を解決しながら企業としての経済的価値と社会的価値を同時に実現するCSV(Creating Shared Value = 共有価値創造)の考えに基づき、全国各地で高齢者の見守り支援や観光支援、地域産品の販路拡大支援などに行政と連携して取り組んでいます。

プロジェクト案件数: **953件** (2018年12月31日現在)

自治体とのプロジェクト協定数(373件)の内訳(単位:件)

見守り支援	143	ふるさと納税	9
買い物支援	14	環境保全	3
産物支援	12	客貨混載	9
観光支援	13	包括支援	34
イベント支援	3	その他	7
災害支援	126		



### ▶ コミュニティ拠点を活用したくらしのサポート

少子高齢化が進む中、人口が集中し、地域コミュニティが希薄な都市部において、今後、急激な高齢化が進むことで、地域住民の生活に関わる課題が顕在化することが想定されます。ヤマトグループは2016年4月から、東京都の多摩ニュータウンで、地域住民の方の生活をより豊かにすることを目指す「くらしのサポートサービス ネコサポ」を開始しました。

団地内に新たに設置したコミュニティ拠点「ネコサポステーション」において地域情報の発信や交流イベントを行い、コミュニティの活性化を図っています。また、自治体、民間企業と協力して地域住民の生活をサポートする家事・買い物代行などの生活関連サービス、他の宅配業者の荷物をヤマト運輸がまとめてお届けする一括配送も提供しています。

多摩ニュータウンでの取組みが都市部における地域活性化の新たなモデルケースとなるよう、今後も、UR都市機構、多摩市、そして地域の皆様と連携して取組みを進めていきます。

### ▶ 「客貨混載」の取組み

ヤマト運輸では、地域の自治体やバス・鉄道会社と協力し、乗客と荷物を同時に運ぶ「客貨混載」を進めることで、過疎化や高齢化が進む中山間地域における路線網の維持と、物流の効率化による地域住民の生活サービス向上に取り組んでいます。

### 客貨混載のメリット

地域のお客様

過疎地域の公共交通手段が維持され、安定的に利用できるようになるため、病院やスーパーなど多様な施設へアクセスでき、生活

基盤が安定します。セールスドライバーが地域に滞在する時間が増えることで、集荷締め切り時間が延長するなど、宅急便のサービスもより便利にご利用いただけます。また、地域を走る車両の台数が削減されることで交通安全や環境への効果も期待されます。

#### バス・鉄道会社

旅客の空きスペースで宅急便を輸送することで、路線網の維持につながる新たな収入源を確保することができ、生産性が向上します。

### 全国初の観光支援型「客貨混載」で手ぶら観光を推進

大分県別府市は、日本有数の温泉地として日本人のみならず海外からの観光客の人気も高く、多くの人で賑わう観光地です。しかし、コインロッカーの不足等により、観光客は手荷物を持ったまま観光するケースが多いため、身動きがとりづらいという課題がありました。



この課題解決に向けて、ヤマト運輸は、大分交通株式会社と大分航空ターミナル株式会社と協力し、2018年4月より全国初の観光支援型「客貨混載」を開始しました。空港リムジンバスを利用して大分空港からヤマト運輸大分ベースへ手荷物を運ぶことで、別府市内全域と大分市中心地の宿泊施設へ手荷物を当日中にお届けし、早い時間からの身軽な手ぶら観光を実現しています。

今後も3社で連携し、荷受け時間や対象地域の拡大などを視野に入れ、サービスの拡充や地域活性化に取り組んでいきます。

▶ 取組み事例は、ヤマト運輸株式会社ホームページをご覧ください。  
<http://www.kuronekoyamato.co.jp/ytc/government/>